

安永1町内

ひ よし さん のう ぐう
日吉山王宮



安永には「ドン屋敷」という伝承地名があります。現在、安永1町内にある「板碑」と「古井戸」あたりが「ドン屋敷」と呼ばれています。鎌倉時代、「ドン屋敷」は役人で出家者であった地頭沙彌の是圓が住んでいたといわれています。その是圓が福田寺に奉納した「永仁五年五輪塔」(町指定文化財)は現在、交流情報センター内に移設し保存されています。それには次のように記されています。

当国六か庄 上安永地頭沙彌是圓 之時奉造立五輪也 毎日所作奉摺写 弥陀薬師観音 合一万二千九百九十五鉢 永仁五年三月

【訳文】 六ヶ庄の上安永地頭沙彌是圓は、毎日「阿弥陀如来」・「薬師如来」・「観音菩薩」を刷り写し、12,995体になったので、これを祈願して奉納する 永仁五年三月

このことから地頭である沙彌是圓は、天台宗と熊野権現の信者であったと推測されています。天台宗は、比叡山の神霊山王神(大山咋神)が守護神であることから、日吉山王宮は「ドン屋敷」周辺の宗教施設の守護神として、比叡山の神霊である山王神を勧請したことが推定されます。境内には「影向石」もあります。影向石は神が天から降りて来られる場所といわれています。

「ドン屋敷」の周辺には、北に「薬師堂」、東に「観音堂」と「安永権現社跡」、西にはかつて寺院が存在しており、その跡地からは阿弥陀如来像が見つかったとの記録があります。

古代より人々は「人の智慧を超えたもの=神」を感じ・畏敬し、五穀豊穰・子孫繁栄・一日の無事・明日の幸せを祈り、感謝してきました。現在でも日吉山王宮には9月15日に子ども相撲、12月15日は祭事があり、座が持たれています。

参考文献 『益城町史 通史編』



BABY

わが家の天使 こんにちは赤ちゃん



さかもと きこ ちゃん
坂本 希心 ちゃん

(平田 上)

食べることが大好きなきこちゃん!! これからもいにとねえねと仲良く元気に遊んでね♡

パパ 大輔さん ママ 揚子さん



おくだ あきな ちゃん
奥田 明希奈 ちゃん

(平田 上)

食べることが大好き♡たくさん食べて大きくなって早くいにと一緒に外で遊びたいな!

パパ 武さん ママ 麻沙未さん

MAIL

ご意見・ご感想 の紹介コーナー



作家斉藤てるさんの百年の綿菓子を読んで、三色娘の輝いた老後の生き方と楽しさ、そしてサスペンスのスリルやドキドキ感など…、楽しく読みました。是非みなさんにもお薦めの小説です。 田原 尾崎佐千子



益城の文化財の福田桜の記事を読みまして、はじめて知りましたが、歴史を感じ、これからも大切に守りたいですね。 P.N 春の風



2月17日、種子島からH2A ロケットが打ち上げられ、南の空、飯田山の奥に天にのびるロケットの雲が見えました。天候はいいですが自宅から見えるか毎回楽しみです。 P.N さくらちゃん



3月号の広報ましきで津森小学校の子どもたちの写真がありました。わが家の孫がバッチリ写っていましたヨ。 P.N 桃のにいちゃん